

# 小笠原ネコプロジェクト ～集落編～

島にやってきた **飼** が、人に捨てられ **野** が増える

**1996年**、「ハハジマメグロが **野** に襲われている」との声を発端に、小笠原在来の生き物たちを守るため、島の人たちは力を合わせてネコ対策を開始

**1998年**、環境衛生の保持・自然環境の保全を目的とした全国初となる「小笠原村飼いネコ適正飼養条例（ネコ条例）」により、**飼** と **野** を区別

→ 新たな **野** を生み出さない対策をルール化

**2006年**、関係行政機関や地元NPOによる「小笠原ネコに関する連絡会議」が発足

→ **野** 捕獲が本格化（**野** は、内地の動物病院から飼い主へ譲渡）

**2008**～2016年の東京都獣医師会協力による動物派遣診療と2010年に改正されたネコ条例の運用

→ **飼** 登録台帳の更新、適正飼養の推進

**2017年**、小笠原世界遺産センターに設けられた「動物対処室」に獣医師が常駐

→ 野生動物を救いながら、**飼** の適正飼養を強化



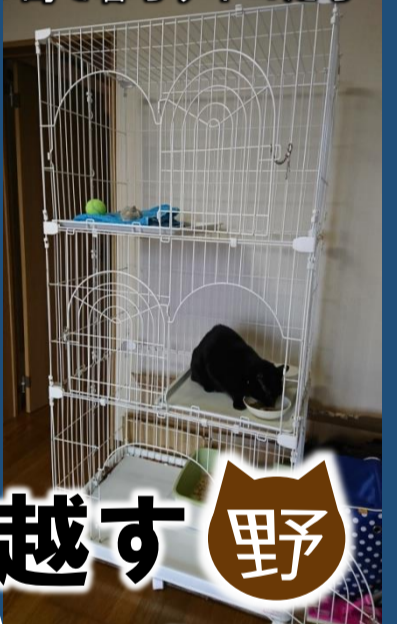
マイクロチップの装着



動物派遣診療の様子



島で暮らすネコたち



室内飼養はネコのストレス軽減にもつながります。

島で幸せに暮らす **飼** と、島から引っ越す **野** と **飼** と **野** の取組が両輪となって進んでいます。

ペットの登録状況と 動物対処室受診状況 2019年1月末現在		父 島		母 島		その他		
		イヌ	ネコ		イヌ		ネコ	
			2012年	2019年			2012年	2019年
対処室	診療数（頭）①	50	—	39	8	—	3	6
	死亡・移転・観光客（頭）②	10	—	7	1	—	1	1
	現在のカルテ数（頭）③=①-②	40	—	32	7	—	2	5
台帳登録	台帳登録数（頭）④	67	92	58	9	16	18	—
	対処室受診率 ⑤=③/④	60%	—	55%	78%	—	11%	—
	マイクロチップ装着率	54%	85%	91%	80%	63%	100%	—
	避妊去勢率（予定ありを含めると100%）	—	96%	98%	—	100%	89%	—
	室内飼養率	—	41%	83%	—	25%	33%	—

※集落内のノラネコについては、父島では25頭（2011年秋）から2頭（2018年冬）になり、母島では情報の把握を進めています。